

大久野島ビジターセンター便り

Vol.50 (H22.10.9)

10月に入り、ようやく日中も過ごしやすい気温になってきました。9月の中旬頃までは、猛暑に加えて、雨もほとんど降らなかったため、島に住んでいる生き物も植物も、みんな困っていました。島のあちこちに生育し、毎年真夏に花を咲かせるクサギも、今年は雨が少なかったため、花を咲かすことなく秋を迎えています。

アナウサギたちは、夏毛が生えそろったかと思うと、すぐに冬毛の準備をし始めて、只今換毛期真っ盛りです。急に秋めいてきたため、動植物たちもあわてて冬支度に入ったようです。

今回は、冬支度をし始めている島の動物、植物たちの様子をみなさんにお届けいたします。

冬支度しています



【ヒヨドリ 秋の渡り(2010.10.2)】

・ヒヨドリは春、秋に 100 羽以上の群れとなり、海洋上近くを波状に飛ぶそうです。ピヨピヨとにぎやかに飛んでいました。



【冬毛に換わるアナウサギ(2010.10.2)】

・今年は、急に暑くなったため、夏毛に生え変わったかと思うと、すぐに冬毛になり始めています。背中の方は、きれいに冬毛になっていますが、お腹の毛はまだ夏毛です。



【ヒマラヤトキワサンザシ】

・この時期から少しずつ色づき始め、(大久野島では)12月に真っ赤になります。島では実の少ない時期に熟すので、鳥たちがたくさん集まってきます。



【マテバシイを食べるアナウサギ】

・島に野生化して暮らすウサギたちは、秋に入って食欲が増してきました。冬には食べ物がグンと減ってしまうので、この時期においしい木の実をたくさん食べてね！

お知らせ

大久野島ビジターセンターでは、平成22年11月30日(火)まで「生物多様性年特別展示 大久野島のウサギ 作品展」を館内のレクチャールームで行っています。

今年は国連が定めた「生物多様性年」です。10月18日～29日には、私たちのすむ日本(愛知県名古屋市)で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されます。この会議では、地球上の生き物たちがつながり合い、支えあって生きていけるように、そしてみんなで自然環境や生き物たちを守っていけるようにするには、どうすればよいかなどの話し合いを行います。今回は、「大久野島のウサギ作品展」を通じて多くの皆様に「生物多様性」を学んでいただきたいと思います。

また、来島者の多くなった大久野島では、私たち人間のマナー違反(例えば、たばこのポイ捨てやゴミの放置、抱っこなど)で自然の中で暮らすウサギたちが迷惑する(命を落とす場合もあります)境遇も増加してきています。この作品展をきっかけに、大久野島の自然の中で暮らすウサギたちの生態について、そして人と動植物、自然との関わり合いも皆さんに考えていただきたいと思います。島にお越しの際には、是非お立ち寄りください！



【大久野島のウサギ 作品展】

・今回は写真だけでなく、大久野島のウサギに関する作品を展示させていただいております。初日の9月20日～26日は動物愛護週間でした。



【大久野島のウサギ作品展 展示風景】

・今回も多数のかたのご協力のもと、企画させていただいております。プロ、アマ問わず、毎回たくさんの方が、ボランティアでご協力くださっています。



【大久野島のウサギ作品展 展示風景】

・みなさん、それぞれの想いで大久野島のウサギたちの様子を作品にされています。自然の中でのびのびとしている様子、授乳シーンやケンカの様子など、様々なウサギたちの生態をご覧いただけます。



【大久野島のウサギ作品展 展示風景】

・この作品展を通じて
☆生物多様性について
☆大久野島で野生化するウサギたちの生態
☆人と動植物の関わり合い
について考えていただけたらと思います



【生物多様性を学ぼう！】

・島のウサギたちから「生物多様性」について考えてみようというコーナーです。大久野島では、アナウサギたちが主役ですが、それを取り巻く植物や生き物たちはお互いに支えあっているということを学んでいただきたいと思います。



【アナウサギのこともっと知ろう！】

・ウサギたちのこともっと知りたい方は、ぜひご利用ください。そして、生物多様性について、島のウサギたちについて、少しでも疑問に思うことがありましたら、スタッフまでお気軽にお尋ねください！！

期 間 平成22年9月20日(月)～11月30日(火)
 ※毎週水曜日休館日
 ※開館時間 9:00～16:00

場 所 大久野島ビジターセンター レクチャールーム

入館料 無料

展示物 大久野島のウサギに関する作品

写真

プロカメラマン 中村 隆之 さん, 鷹矢 さん
 動物写真家 福田 幸広 さん
 写真家 松本 典子 さん
 アマチュア写真家の皆さん

きりえ作品

きりえ作家 松下 真名 さん

羊毛フェルト

羊毛フェルト作家 高瀬 晴美 さん

スケッチ

松本 恭輔 さん

お知らせ

大久野島ビジターセンターでは、瀬戸内海の自然・歴史・文化を訪ねる「瀬戸内エコツアー」を主催行事として年に2回行っています。第13回目の今回は、瀬戸内海国立公園のクルージング体験と竹原の歴史、文化を訪ねます。

クルージング体験では、スナメリの回遊海面として国の天然記念物に指定されている阿波島の回遊面、自然豊かな海域が残るハチの干潟沖、カブトガニの繁殖地である吉名沖をまわり、瀬戸内海の自然環境について学びます。そして、竹原の町並み保存地区へ徒歩で向かい、塩田で栄えた歴史や文化を学びながら散策を楽しみます。

午後からは、バンブージョイハイランド内にある「竹の館」で、竹にまつわるお話や実際に竹を使って作るクラフト体験を行います。体験を通じて竹の活用法を学んでいただき、身近に生育している竹について親しみを感じていただきたいと思います。

秋の風を感じながら、竹原市の豊かな自然、歴史、文化に触れてみませんか？



大久野島ビジターセンター便り vol.50 H22.10.9 発行
発行・編集：大久野島ビジターセンター
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島
電話・FAX：(0846) 26-0100
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）
お問い合わせなどはこちらまで 担当：馬場